

神奈川県 石川ひろのり

県議会レポート 2022 特別号

住み続けたい街
麻生区のために



石川ひろのり事務所
〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室
〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階
TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8933

<http://www.hiro-ishikawa.jp/> 石川ひろのり

本当に神奈川県は住みやすいのか
あなたの納めた税金を
「生まれて・育って・住んで良かった」
誇りある神奈川県に。
今日より明日はきっといいことがある。
住み続けたい神奈川県を目指して。

新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」に向けた取組について 石川ひろのり 代表質問に登壇

主な質問

新型コロナウイルス感染症対策の 宿泊療養施設確保について

石川 これまで、中等症、重症者は、神奈川県モデル医療体制構築の中で、県内医療機関との連携によりフェーズによる病床確保が図られ、オミクロン株においてもこの対応がなされている。また、重症化リスクの低い方で抗原検査キットや無料検査で陽性が判明した場合は、医療機関の診断を待たずに自ら療養を始められるよう「自主療養」を選ぶことができるようになった。しかし、「軽症であっても急に重症化してしまうのでは」という不安がある方や、家庭等の状況により「自宅ではなく宿泊療養施設を選択したい」という方などに対応するため、宿泊療養施設を用意しておくことはとても重要である。新型コロナウイルスの対応が長期化している中で宿泊施設に対し、感染状況に合わせた施設確保の協力依頼をすべきと考える。また、医療体制・病床確保については感染状況に合わせた構築が図られているが、宿泊者療養施設においてはこの限りではない。今後、感染状況に合わせた宿泊療養施設確保に向けた取組を行うべきと考える。

知事 県は、これまで感染状況に応じ、新規宿泊療養施設を開拓し、感染者の療養先を増やしてきた。宿泊療養施設は、コロナ病床とは異なり空室補償のような制度はなく、その確保のためには施設を長期間借り上げなければならないのが現状である。しかし、この借上げを感染状況に応じて柔軟に対応できないか打診してみたところ、一部の事業者は対応が可能であるとのことだった。この事業者とは、借用する施設を定め、フェーズに合わせた宿泊療養施設の開設に関する取決めを結び方向で調整していく。

宿泊療養施設の一覧（2022年2月28日現在）

区分	確保 室数	受入可能 室数
湘南国際センター	95	95
アパホテル横浜駅西口	451	375
レムプラントスタイル本厚木	162	126
パークインホテル本厚木（トラベルインを含む）	282	234
新横浜国際ホテル（本館）	206	188
リッチモンドホテルプレミア武蔵小杉	302	247
東横INN新横浜駅前新館	288	249
ベストウェスタン横浜	185	118
東横INN横浜スタジアム前I（ローマ数字の1）、II（ローマ数字の2）	441	404
ホテルグリーン	23	16
東横INN湘南鎌倉総合駅北口	206	146
R&Bホテル新横浜駅前	247	199
相模原宿泊療養施設	40	40
合計	2,928	2,437

石川 2月2日時点で6万人を超える自宅療養者が県内にいる中で、施設入所基準が厳しく2月16日現在、療養施設の利用率が約9%となっている。せっかく療養施設を用意しても、入所できなければ、意味がない。現在の宿泊療養基準や、その利用のあり方を検討すべきと考える。

知事 宿泊療養施設への入所の基準については、病床の逼迫に対応するために、1月24日からは重症化するリスクの高い入院優先度スコア3以上の陽性者として、病院に準じるような対応となっていた。今後、病床の逼迫具合や感染症の状況に合わせて、宿泊療養施設の入所の基準を柔軟に見直していく。

民生委員改選期に向けた取組について

石川 令和4年12月、全国の民生委員の改選期を迎える。令和元年に民生委員定数条例が改正されたが、県では令和3年4月1日現在、800人以上の欠員が出ている。県は、国に対し、活動実態に見合った活動費の充実、活動しやすい環境づくりを求めているが、私は、根本的な民生委員の業務内容の見直しや依頼内容の整理など、国に対して制度自体の精査を求めると考える。県民が地域で安心して生活していくために、民生委員の役割は大変重要である。次回改選に向け欠員がないよう、県として積極的に取組むべきである。

知事 これまで、民生委員の年齢制限を撤廃したほか、担い手確保の好事例を市町村と情報共有してきた。しかし、民生委員は、法律で規定された職務内容が「必要に応じて住民の福祉の増進を図るための活動を行う」と抽象的であるため、市町村から様々な役割を期待され、多くの会議へ出席するなど多忙となっている。また、近年、相談内容が複雑かつ多様化しており、負担が大きいといった声が民生委員の方々から寄せられている。そこで県では、活動の手引きに、例えばケアラーなど、新たな地域課題に対する相談先を掲載していく。また、市町村に対し、民生委員が出席する会議等の見直しをお願いするとともに、国に対しては、民生委員の業務内容の明確化や整理を要望するなど、負担軽減に向け取組んでいく。

学校問題解決に向けた支援について

石川 県内の学校を取り巻く状況は、いじめや暴力行為等の問題行動の対応に加え、不登校、特別



県が宿泊療養施設
入所基準見直しへ
新型コロナウイルス感染症を巡り、黒岩知事は18日の県議会本会議で、感染者を受け入れる宿泊療養施設の入所基準について「病床の逼迫具合や感染者の状況に合わせて柔軟に見直していく」と述べた。県は「第6波」の感染拡大を受け、1月下旬からは宿泊療養施設への入所を重症化リスクの高い人を優先に対応。今月10日以降は、家庭内感染の恐れがあるなどの事情がある人も入所の対象としていた。ただ、利用可能な部屋数に対する入所者数は10%程度と、稼働率が低かった。知事はまた、感染状況に応じて宿泊療養施設を開設できるように、ホテル事業者と調整する考えも示した。施設は県がホテルを一定期間、借り上げて開設することが多く、感染拡大時は宿泊療養施設として運営するようにする。一部の事業者がこうした取り決めを理解を示しているという。
立憲民主党・民権クラブの石川裕憲氏の代表質問に答えた。（川口 肇）

2022年2月19日 神奈川新聞

な支援が必要な児童生徒など、一人ひとりへの様々な対応が必要な状況となっている。また、社会の急激な変化や価値観の多様化により、学校に対する保護者や地域住民からの意見や要望も多様化している。

平成20年、国の教育再生懇談会から、全ての教育委員会で「学校問題解決支援チーム」の設置を目指すよう提言があった。県教育委員会では、総合教育センターなどが対応しているが、児童生徒や保護者等への周知内容はわかりづらく、相談内容も限定的と取られかねない。また、保護者等から学校現場や教育委員会に相談があり、問題解決が困難な事案が発生した際は、第三者的機関に双方が相談することにより、スムーズな問題解決につながり、教職員が本来の業務である児童生徒と向き合う時間を確保することができる。

私は、児童生徒にとって、より良い学校環境づくりがとても重要と考える。学校だけでは解決困難な問題について、県教育委員会への相談は年間どのくらいあるのか。児童生徒は勿論のこと、保護者、学校現場のためにも東京都の「学校問題解決サポートセンター」のような第三者的機関等の設置を検討すべきと考える。

教育長 学校だけでは十分に対応しきれないケースもあり、教育局や県立総合教育センターの窓口には、学校や保護者等から、年間で延べ1万件を超える相談がある。

裏面へ続く➡

これらの相談に対応するため、県教育委員会では、局内及び総合教育センターに指導主事や校長経験者を配置し、局内の学校支援課には、法曹有資格者等の外部人材を配置している。この取組が東京都教育委員会の「第三者的機関」と同様の機能をもっていると捉えており、**現行の体制による対応を着実に進めていきたい**と考えている。併せて、**議員ご指摘の児童・生徒や保護者等への周知については、リーフレット等の活用により、教育委員会の相談窓口等の支援体制を分かりやすく広報するなど、更に工夫していく。**

石川 年間で1万件以上の相談があることは、大変驚きであり、逆に受付体制は大丈夫かという心配もある。まず、わかりやすく、**ワンストップで相談しやすい窓口の設置、周知を要望する。**1月、文科省の発表によると小学校の教員不足が生じている自治体の割合は、神奈川県がもっとも高いとのことである。この点からも教員が子どもと向き合う時間を確保することが大切だと考える。早急な対応を要望する。

その他の質問

- ・コロナ禍における生活困窮者対策について
- ・適切な残土処分施策について
- ・利便性の高い公共交通サービス確保に向けた取組みについてなど質問しました。詳しい質問内容はホームページをご覧ください。



駅頭・街頭活動

麻生区内の各駅にて、皆さまの通勤・通学時間帯を中心に活動報告をお配りしています。毎回多くのお声掛けをいただき、地域の皆さまの生の声をお聞きする貴重な機会となっております。見かけた際にはぜひご意見・ご要望などお聞かせください。

活動報告

インクルーシブ教育について県立川崎北高校を視察

12月、県立川崎北高校と、同校に併設されている高津養護学校川崎北分教室を視察させていただき、インクルーシブ教育についてヒアリングを行いました。インクルーシブ教育とは、障害のある子どもと障害のない子どもが共に教育を受ける機会を広げ、すべての子どもが相互に理解を深めることを目指すものです。実際にグループディスカッションやパソコンを使って授業が行われている様子を見学し、質疑もさせていただきました。障害がある人が社会に出ても積極的に活躍できる環境作りの必要性も改めて感じました。



あさお古風七草粥の会

1月、麻生区役所広場で開催された「第18回あさお古風七草粥の会」に参加しました。2年ぶりの開催となりましたが、今年は密にならないよう整理券を配布し、飲食スペースも入れ替え制にするなどの感染対策のもと実施されました。この「あさお七草粥」に使う食材はすべて地元で栽培された七草や米を使用し、餅を焼く炭も地元産とのことで、まさに地産地消の七草粥となっています。その他、けん玉やかかるた、羽根つきなど昔ながらのお正月風景も見ることができました。最近では珍しくなってしまった日本古来のお正月遊びですが、伝統文化としてこれからも伝えていってほしいと思います。



どんど焼き

1月、麻生区各地域で開催された「どんど焼き」にお邪魔させていただきました。コロナの影響により中止や縮小開催となる地域もありましたが、訪れた地域では、子どもたち、そして一緒に参加している大人の方もお団子を焼きながら世代を超えて楽しまれました。薄暮れの中、大きな炎とともに天高く煙が上がっていく様子はとても迫力がありました。災難を追い払い、一年の無病息災を願う大切な行事。今後も地域の伝統行事として継承されるよう切に願います。



麻生不動院「だるま市」

1月、麻生不動院で毎年1月28日に行われ、2年ぶりの開催となった「関東納めのだるま市」にお邪魔させていただきました。参道にはお面や射的、たこ焼きといった出店もあり、久しぶりに見る活気ある風景に童心に帰る思いで楽しませていただきました。ふるさと麻生八景にも選定されている歴史あるだるま市。ぜひ、来年行かれてみてはいかがでしょうか。



県政報告(タウンニュース掲載) 2022年1月28日



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ/横浜市出身/サラリーマンを約20年経験/参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験/麻生区在住

12月、県の令和2年度児童虐待対応相談件数が過去最多の2万2093件となったことを受け「児童相談所の体制強化」が求められています。しかし、国「学校との連携強化」について質疑を行いました。

12月、県の令和2年度児童虐待対応相談件数が過去最多の2万2093件となったことを受け「児童相談所の体制強化」が求められています。しかし、国「学校との連携強化」について質疑を行いました。児童虐待対応相談件数が過去最多の2万2093件となったことを受け「児童相談所の体制強化」が求められています。しかし、国「学校との連携強化」について質疑を行いました。

「危機感をもった児童虐待対策を求める。」
民権クラブ 県政報告 vol.37
社会問題対策特別委員会にて質疑
神奈川県議会議員 石川ひろのり

石川ひろのり 事務所
麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611
FAX 044-455-6614

児童虐待対応相談件数が過去最多の2万2093件となったことを受け「児童相談所の体制強化」が求められています。しかし、国「学校との連携強化」について質疑を行いました。

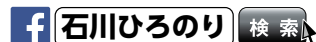
「危機感をもった児童虐待対策を求める。」

社会問題対策特別委員会にて質疑「危機感をもった児童虐待対策を求める。」

石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選。麻生区在住。引きこもり支援相談士。
趣味：ジョギング(湘南国際マラソン大会6年連続出場。自己ベスト記録3時間29分28秒) 家族：妻、子供一人
好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。



ボランティアスタッフ募集

石川ひろのり事務所では随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど短時間でもかまいません。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動への
ご支援(個人献金)のお願い

石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。
▶石川裕憲後援会【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777)【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへの ご意見・ご質問をお待ちしております。 FAX 044-455-6614	ご意見など	お名前	TEL
		ご住所	